高たは

発行:京都府立峰山高等学校広報担当 所在地:京都府京丹後市峰山町古殿 1185 番地 TEL:0772-62-1012 Fax:0772-62-1013 www.kyoto-be.ne.jp/mineyama-hs/

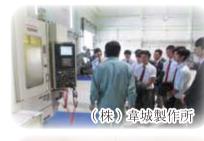
産業工学科3年生 地元工場見学会



5月11日(木)に、丹後 機械工業協同組合との共催事 業として地元工場見学会を実 施しました。見学先は(株) **積進、丹後織物工業組合中央加**

工場、(株) 韋城製作所、京都府織物・機械金属振興センター、(株) 峰山鉄工所の5箇所です。生徒たちは、直前に迫った進路の最終決定 に役立てられるよう、自分の進路を意識しながら熱心に業務の説明を 聞き、作業の様子などを見学しました。特に、この5月から稼働し始 めた韋城製作所の森本工場では免震・防音を施した最新の工場設備に 生徒たちは驚いていました。











5月8日(月)から12日(金)にか けて生活点検週間を実施しました。新年 度がスタートし、約1ヶ月が経過したこ の時期、自分自身の学習・生活を振り返 り、より良い学校生活とすることが狙い です。本年度は、例年に比べて全校生徒 の遅刻数が少ないなど、大変良い結果と なっています。生活点検週間で掲げた重 点項目は、学校生活の中だけでなく、社 会で認められる自分の形成においても大

切なことです。

生活点検週間重点項目

- ◆挨拶励行・身だしなみ向上
- ①気持ちの良い挨拶「おはようございます」と「こんにちは」 ②正しい身だしなみ「地域、社会で認められる服装とふるまい」
- ◆授業規律の向上
- ①チャイムの前に机上を整理し、授業の準備を済ませる。
- ②身だしなみを整え、授業開始時に起立し、気持ちの良い礼(挨 拶)をする。
- ◆遅刻の防止

目標:週間中、毎日の遅刻者を「0」に!

非行防止・薬物乱用防止教室

4月20日(木)に、新1 年生を対象に「非行防止・ 薬物乱用防止教室」行いま した。講師には、京都府警 察本部生活安全部 少年サ



ポートセンターの秋保竜太郎氏をお迎えして、「青 少年非行・薬物乱用の危険性について」と題して少 年非行の現状と薬物の危険性について話をしていた

だきました。

スマートフォンの普及に伴い、 表情の見えない中でのコミュニ ケーションによる、SNS から起き たトラブルが増加していることや、

一度ネット上に流れた情報を完全に消去することは 不可能であること、他人に見られたくない写真や動 画をネット上に不用意に流さない、面白半分でネッ トトにのせた画像が社会の反感をかってしまった 例、パスワードの使い廻しにより大きな被害を受け た例など、ネット社会に潜む危険性について、動画 を交えて説明していただきました。

更に、大麻や覚醒剤等の薬物が生徒の身近なとこ ろまで迫ってきており、自分を守るた めには絶対に薬物には手を出しては いけないと、実例をもとにその危険 性について話していただきました。

第1回交通マナー向上とあいさつ運動

5月12日(金)今年度最初の「交通マナー向 上とあいさつ運動」を行いました。PTA 役員・警 察の方々とともに、教職員、生徒会執行部員と各 クラスの交通委員が、登校する生徒たちに笑顔で あいさつしました。またこの日は「生活点検週間」 の最終日でもあり、服装や頭髪など正しい身だし

なみにつ いても確 認しまし た。



生徒総会

5月1日(月)に、 生徒総会を行いました。 今回の総会は、平成28 年度生徒会会計決算お よび平成29年度生徒会



会計予算案の承認、生徒会目標の発表、そして峰高 祭テーマの発表でした。今年度の生徒会目標は、高 い理想をもって自分たちで考えて行動するという意 を込めて「Tust Do It. 」に決まりました。ま た、峰高祭のテーマは、一人一人が主役となって咲 き誇るという思いで「百名缭乱~咲き誇れ僕ら

の魂~」としました。



予算案と生徒会目標、 峰高祭テーマが出そろ い、平成29年度の生徒 会活動がスタートしま した。

人権学習

4月25日(火)に具志アンデルソン飛雄馬氏(多 文化共生NPO世界人理事長)の講演を聞きました。 日本に移り住んだ時に受けたいじめ、非行、更生、

人との出会いなど、御自身 の経験やそこから感じ取ら れたことをリアルに語って いただきました。



■生徒の感想

具志さんの「苦労と挫折があるから幸せの意味 がわかる」「やる気がなければ壁に見えるが、や る気があれば階段に見える」という言葉が印象に 残っている。今私は高校生で、まだ社会に出てい ない守られている身であるが、あと少しすれば社 会に出てたくさんの挫折を味わうと思う。しかし、 今回の講演で、何回も転んで立ち上がって食らい ついていけば、きっと成功につながって誰かに認 めてもらえるんだって思えたし、そう思って頑張 ろうと思った。

科学の教室①

"大阪大学いちょう祭で大学・研究室を見学 ~大学、研究の世界に触れる!~

4月30日(日)、今年度の『科学の教室』の最初の企画として大阪大学に行きました。午前中は緑豊かな吹田キャンパスで自由見学。ここには工学部、医学部、薬学部等の学部と、産業科学研究所、微生物病研究所などの研究所があります。午後は豊中キャンパスに移動し自由見学。ここには理学部と基礎工学部と文系の各学部があります。研究所や研究室では、学生や先生による丁寧な説明を聞きながら、実験装置の見学や実験をさせていただきました。大学という世界、そこで学ぶ学生さん、そこで行われている学問・研究に触れることで、これからの高校生活への意欲を高めるよい機会になりました。



51名の参加者(1年32名・ 2年19名)



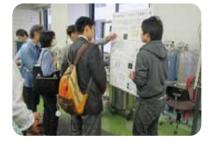
吹田キャンパスに到着しいよ いよ行動開始



天候も良くテンション高めの 峰高生



豊中キャンパスに到着し、自 由行動に出発



基礎工学部のプラスチックの 研究室



理学部生物学科で実験生物を 見ています

■生徒の感想

産業科学研究所の「分子の世界で遊んでみよう」という所で、同じ分子なのに匂いが違う物質があって、 それはなぜかという説明を聞きました。話はとても難しくてあまり理解することはできなかったけど、 学生さんたちが日々研究していることは、私たちの生活にとても役立っていることが分かりました。こ の研究所だけでなく、私が行ったところの学生さんはみんな自分の研究に誇りを持っていました。一つ の目標に向かって努力することの大切さを学んだので、高校3年間で活かしていきたいと思いました。 (1年・女子)

いちょう祭での様々な体験はどれも驚きに満ちあふれていました。ですが僕はこれらの機械、科学の 力よりもそれを作った大学生の方々に感動と驚きを覚えました。僕とそう年も変わらない人がこんなす ごいものを作っているという現実に心を打たれました。これから僕も年を取り体も大きくなっていきま す。その成長の過程をどのように過ごすか、それが一番大切な事なんだと、いちょう祭に参加してそう 思いました。(1年・男子) 電磁気についての講座に参加し電気と磁石と金属での現象についていろいろ知ることができた。教授の話を聞いて研究するうえで大切な事は、「不思議だと思って興味を持つこと」だということを知った。役に立つものもあれば役に立つかどうか分からないものもあるが、それを作るための最初の一歩は「すごく面白い!」と感動し興味を持つところからだと思った。大学は一人一人が自分の研究したいことを熱心にやることができる場所だと感じた。(1年・男子)

最初に行った放射線などについての研究室では、ミューオンを作り出す装置を見たり、原子や粒子についていろいろな説明を聞きました。難しい説明ばかりで何を言っているのか分からなかったけど、とても一生懸命に私たちに教えてくださいました。大学では難しい研究をしていることがよく分かりました。VR / AR ゲーム体験では、まるで未来の世界に来ている気分でした。眼鏡をかけるだけで何もないところに映像が 3D で映し出され、指で空中に操作をするだけでインターネットのページを開き、そのページを移動させてまたページを開いたりと、本当にアニメの世界のようでした。こんなにも技術が進んでいることにとても驚きました。大学ではいろいろな研究がされていて、最先端の技術に触れることができて、とても良い刺激となりました。そして大阪大学の学生さんたちはとても楽しそうに話しをされていて、私も自分の好きな事を研究したいと思いました。(1年・女子)

3年生の活動

■小論文対策セミナー

講師に朝日昌子氏(学研アソシエ)をお迎えし、小論文の書き方を学びました。小論文は、受験はもとより、大学入学後や社会に出てからも必要となる大切なスキルです。



■分野別進路説明会



本校の進路指導部員、外部講師による分野別の説明会を行いました。志望理由の書き方など、それぞれの分野で具体的な取組に関して説明を受けました。

■就職説明会

4月14日(金)に、就職を希望する生徒を対象とした説明会を実施しました。就職に向けた具体的な手順を学びます。



■人権学習

就職などの採用試験に おいて不適切な質問や書 類への記述が求められる 場合があります。今回の 学習は、それらを見抜き 対処する力を身につける 事をめざしています。



■公務員セミナー



4月21日〈金〉に公務員を目指す生徒を対象としたセミナーを実施しました。今後も定期的にセミナーを開催予定です。

■土曜講習

4月22日(土)に2・ 3年生は今年度最初の土 曜講習を行いました。本 校では定期的に講習を開 催し、進路実現に向けて 取り組んでいきます

